

キャラクター名  
鬼灯シグマ

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	UGNチルドレン
	ブラックドッグ		年齢	16	性別
オプション					
覚醒	死	衝動	破壊	初期侵食率	34 %
出自	天涯孤独	経験	死と再生	邂逅	師匠

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	38
肉体	4	1	0		3	8	行動値	10
感覚	2	0	2			4	(非装備時)	10
精神	2	0	0			2	戦闘移動	15
社会	0	0	1			1	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
アームブレード: ハワイ		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
アームブレード: ハードワイヤード	
バトルマニューバ: ハードワイヤード	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
実験体: ロストナンバー	P	N		
推し	P 推し	N 推し		
桐生嚙矢 (きりゅう・こうや)	P 友情	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセ:ブラッド	1	2	Xジャ	-	-	-	-	
効果: C値を-Lv。								
加速装置	1	1	セット	至近	自身	自動	-	
効果: 行動中[行動値]を+[Lv×4]。								
ハードワイヤード	2	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: ブラックドッグ専用アイテムLv個取得。								
アームズリンク	1	2	Xジャ	武器	-	対決	-	
効果: 組み合わせた判定にダイス+Lv個。								
自爆装置	7	4d10	オート	至近	範囲	自動	120%	
効果: HPO直後対象に[Lv+2]DのHPダメージ。								
バリアクラッカー	1	4	Xジャ	武器	-	対決	80%	
効果: 組み合わせた攻撃に対してガード、ガード時のガードが不可。装甲無視。1回Lv回。								
サードウォッチ	1	2	オート	至近	自身	-	-	
効果: シン登場時使用者はシーンに登場せずシンの状況を把握できる。登場浸食率上昇は通常通り行う。GM判断で禁止にしてもよいがその場合はコストは払わない。								
人間発電機	★							
効果:								
タビツグ & オニア	★							
効果:								
電波障害	★							
効果:								
電子使い	★							
効果:								
効果:								
効果:								

# キャラ: 鬼灯シグマ  自走追尾型地雷娘 (仮)

「この組織って世界平和のために戦ってるんでしょ。」

1945年第二次世界大戦末期、旧日本陸軍は極秘裏に本土決戦に向けた秘密兵器を開発していた。その中の一つである人造人間「百二十四式特殊装甲兵ジンラ號」は、不死化改造を施した兵士に特殊装甲を装着し、敵地に送り込んで敵を殲滅した後に自爆させるという、究極の殺人兵器だった。そのうちの「兵士」丁493とナンバリングされた個体は捨てた孤児に改造手術を施したずさんなものであった。しかし、戦況の悪化を経て計画は破棄される。ジンラ號の存在と関連設備の抹消、そして開発者たちの口封じを目的として、地下の秘密研究所に憲兵隊が送り込まれるが、研究員: 登戸博士(のぼりとひろし)の手により起動可能だったジンラ號全機に武装蜂起・突撃命令により秘密研究所はそれらもろとも埋没してしまい、そのまま放棄された。

丁493は憲兵隊が送り込まれる直前に不調をきたし修理用の資材もなかったため一時保留の名目でコールドスリープ装置に放り込まれていたため難を逃れたのだった。

そして現代。遺棄されて久しい秘密研究所にUGNの調査団が入りそこで人知れず眠りに就いていたかつてジンラ號”丁493”と呼ばれていた少女のコールドスリープ装置を発見。しかしながらコールドスリープの技術はまだ未完成であったため丁493は凍死していた。一縷の望みで蘇生を試みたUGNの調査団の目の前でオーバードに覚醒・復活。そのまま保護へ。

チルドレン教育施設“ホーム”に放り込まれ、ただコードネームでのみ呼ばれる日々だったが番号呼びされるのも嫌だったので、鬼火にひかれた丁493ということで「鬼灯シグマ (ほおずきしぐま)」とチルドレン教育施設“ホーム”で出会った桐生嚙矢(きりゅう・こうや)に名前を付けてもらった。またオーバードに覚醒・復活前にはなかった「\*\*Σ\*\*、\*\*o\*\*、\*\*o\*\*」のように見える痣がある。シグマ本人視点では”ホーム”は美味しい(シグマ視点)ご飯も出るし寝るところもあるし寝る時間もあるしいいことと思っている。社会常識は施設に図書館の本と桐生から社会常識を学んだ。